



次世代
Okushin
がんプロ

第7回

Next generation Hokushin cancer professional

Oncology Seminar

講演

集学的治療を行った舌扁平上皮癌頸部再発の1例

がん治療において、外科療法や化学療法、放射線療法などを組み合わせて行う集学的治療により、高い治療効果・良好な治療成績を得ています。これまでも口腔がんにおいて集学的治療が行われていましたが、近年、再発・遠隔転移を有する口腔がんに対する免疫チェックポイント阻害剤の適応承認を得てから、劇的な口腔がん治療のパラダイムシフトが起っています。そこで本講演では、免疫チェックポイント阻害剤による免疫療法や緩和医療、栄養サポートを含めた集学的治療を行なった舌扁平上皮癌頸部再発症例の治療経過についてご報告させていただきます。

開催日時

2024. 12.5 木
18:00-19:30

(ZOOMによるオンライン開催)

金沢大学医薬保健研究域医学系
顎顔面口腔外科学分野

准教授 **加藤 広 禄** 先生

参加希望者は**12月4日(水)**までに
下記のURLまたはQRコードから
お申込ください。

特別講演

口腔がんの診断、治療の特徴

口腔がんの発生率はがん全体からすれば約1~3%と低いので認知度が低いのですが、口は目に見える場所で、触ることもでき、早期発見が可能ながんです。また、口腔は「食べる」「話す」「呼吸する」場所で、顔面の目立つ場所にあるため、機能的にも審美的にも重要です。どのがんでも同じですが、「早く見つけて治療する」が基本となります。本セミナーでは口腔がんの診断(早期発見)や治療(口腔機能の保存)でわれわれが注意している点や工夫している点を解説したいと思います。

【参加申込フォーム】



金沢大学医薬保健研究域医学系
顎顔面口腔外科学分野

教授 **川尻 秀一** 先生



問い合わせ先

次世代北信がんプロ事務局
〒920-8640 石川県金沢市宝町13-1
TEL: 076 (265) 2886
E-mail: gpro@adm.kanazawa-u.ac.jp
HP: <https://gan-pro.net>